

Press release

2008年2月19日

(株)テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町3丁目7番地4号 TSR ビル

代表取締役社長 藤田 正雄

- 電子ペーパー市場は2007年 約56億円、2008年は約96億円(対前年比170%増)となる見通し
- AmazonのKindleに代表される電子ブックの普及が今後も電子ペーパー市場の牽引役となる

<調査概要>

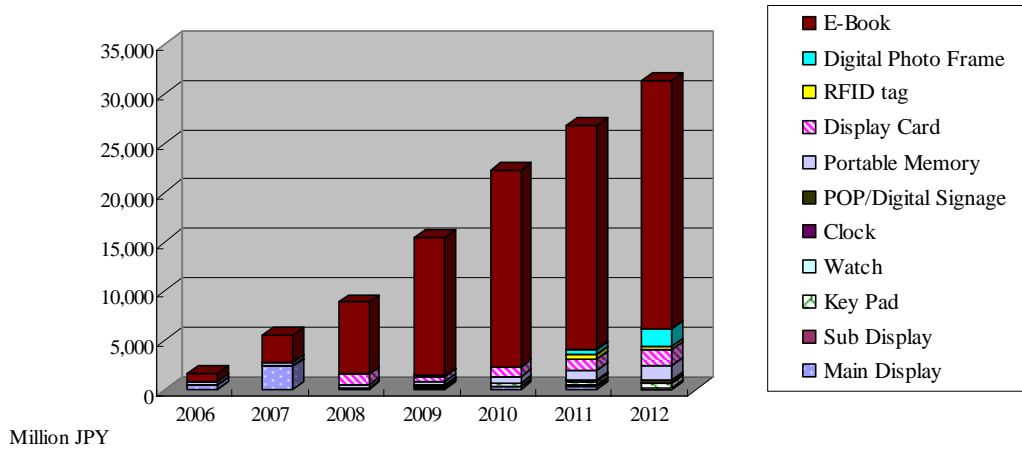
(株)テクノ・システム・リサーチは、2008年2月に電子ペーパー関連の調査資料『*Market Overview of E-Paper -普及が始まった電子ペーパーの今後の可能性*』にて、電子ペーパー市場について最新の調査結果をまとめました。

電子ペーパー市場(ディスプレイモジュール)は携帯電話向け需要と電子ブック市場の拡大により、2007年は約56億円に達しました(対前年比352%増)。その後は、AmazonのKindle¹など電子ブックの普及が牽引し、2012年には400億円を超える市場に成長すると予測しています。

電子ペーパーを搭載した電子ブックは2004年頃から発売されていましたが、コンテンツの数とダウンロードのインフラが不十分でなかった為、日本の一部ユーザーの購入に留まっています。市場拡大の要因となっているKindleとSony Readerは非常に多くの書籍と新聞コンテンツが一般書籍より安い価格でダウンロード可能となった為、普及に弾みがついています。

¹ Amazon が発売したワイヤレス機能つき電子書籍リーダー

EPD by Application

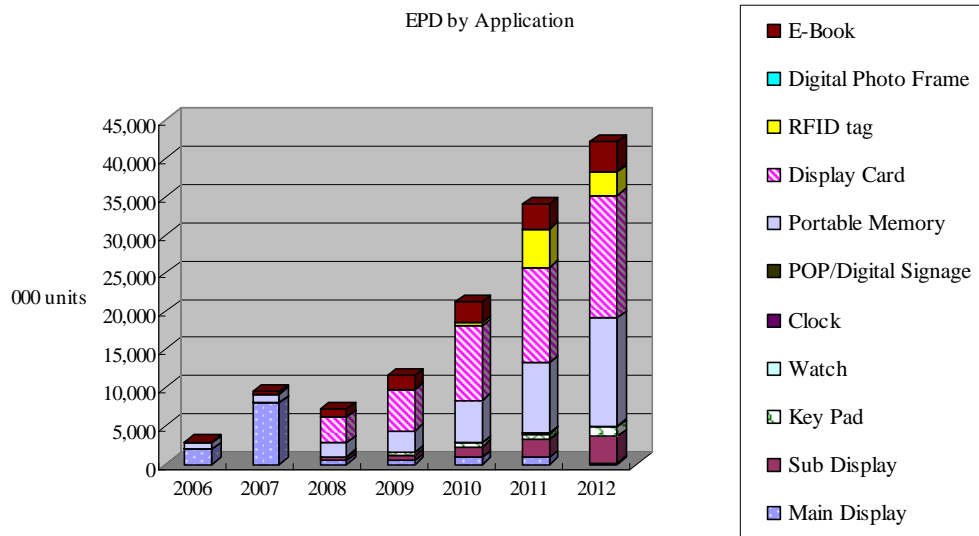


テクノ・システム・リサーチ調べ

電子ペーパー市場(ディスプレイモジュール)は携帯電話向け需要と電子ブック市場の拡大により、2007年は約56億円の市場規模(対前年比352%増)となった。その後は1.2倍から1.7倍のペースで伸び続け、2012年には400億円を超える市場に成長すると予測している。

携帯電話ではMotorolaが戦略的に出荷したBRICs向けエントリーモデル”Motofone”に採用された為、出荷台数と市場規模に大きく貢献した。一方、電子ブック市場ではSony Reader、Kindle等で採用されている6.0"クラスの電子ペーパーが採用されており、この電子ブック市場が急成長しているのが今後も電子ペーパー市場が立ち上がる背景である。

今後、携帯電話ではキーパッドやサブディスプレイに需要がシフトし、今後は電子bookがそれを補う形で拡大していくと予測している。



テクノ・システム・リサーチ調べ

数量ベースでは、前述のMotofoneの拡大により2007年は約1,000万個(対前年比330%増)弱に到達した。携帯電話は数量が大きいライフサイクルが短い為、その外の用途が市場を拡大させると予測している。今後は電子ブック、ディスプレイ/ICカード、電子棚札(ESL: Electronic Shelf Label)、ポータブルメモリー(USBメモリなど)などが2009年以降から大きく拡大し、2012年には7,000万モジュールを超える見込である。

数量ベースではディスプレイ/ICカードや値札などセグメント表示(残高・数値)用のディスプレイ需要が牽引するが、デジタルサイネージなど大型電子ペーパー需要の拡大も見込んでいる。

これら電子ペーパー製品の殆どはE-Ink社方式の電子ペーパーを採用している。

このリリースのお問い合わせ先

株式会社 テクノ・システム・リサーチ
 第2グループ
 高相 たかそう 緑
 電話 03-3866-4505
Info@t-s-r.co.jp